福生新聞

発行所
福生町志茂映画館前
福生新聞社
電話福生422番
発行人　川上作司

生誕希望を持って新市町誕生

一部を残し町村合併ここに実る

円満な運営を今後に期待し

合併の趣旨十二分に生かせ

西郡の町村合併は町村合併法の発足と同時に結成された東京都町村合併審議会の指導のもとに該当町村役場当局並関係町村民の熱意ある協力によって都下で最も困難視せられ合併問題は最も良い成績のもとに進行し、小河内、氷川、古里の三ヶ町村合併して奥多摩町が新らしく誕生、三田、吉野、小曽木、成木の四ヶ村は青梅市に編入して大青梅市をかたち造り、小宮戸倉、五日市、増戸の四ヶ町村が合併新しい五日市町となり、多西東秋留、西秋留の三ヶ村合併して奥多摩町が誕生、それぞれ関係市町村は去る四月一日希望に輝く新誕生の祝賀式を盛大に挙行してその新発足を祝った。

産業文化観光都市を目ざす大青梅市

昭和二十六年四月青梅、調布、霞の三ヶ町村が合併し市制を施行して以来こゝに満四年、新たに吉野三田、小曽木、成木の四ヶ村が合併して人口五万五千人、面積一〇二平方㌔の名実共に大青梅市となった。

これにより青梅市は広大な農地を有する霞地域と工業殊に「青梅の夜具地」を産出している調布、商業青梅の持つ特色に加えて秩父多摩国立公園の観光地域の三田、吉野、豊富な山林資源を持っている小曽木、成木を加え産業と文化、観光の都市の実現を目ざして輝かしい発足をしている。

観光施設の完備、青梅丘陵、霞丘陵、方砂丘陵を結ぶハイキングコースを拡充し、氷山公園内に植物園動物園を新設する。

昭和三十三年度から三ヶ年計画をもって国鉄御岳駅附近へ駐車場の建設並に御岳スケート場及びキャンプ場の整備拡充を図り観光施設を完備し、将来は団体休憩所、遊園地、郷土博物館を設けて観光センターとする。

吉野梅林の風致を改善して梅郷としての声価を高め、富岡、岩蔵両鉱泉の効果の紹介に努めるとともに、御岳地域の鉱泉源を開発して青梅鉱泉郷の実現を図る等観光施設の完備を図って観光都市としての青梅市建設を目ざしている。

産業面では小曽木村、成木村から引継いだ山林の育成に努め基本財産として造成し、農地の区画整理及び農道の整備をおこない農業経営の合理化を図るため土地改良区の設立を促進しこれを助長する。又霞川水源地域にかんがい用溜池を建設して食糧の増産をする。

工場数六一三工場、年産約五〇〇万足を生産、全国的に知れわたっている「青梅の夜具地」の紡織工業の保護育成を図る等大青梅市の前途は輝かしいものがある。

奥多摩町

氷川、古里、小河内の三ヶ町村を合併した奥多摩町は去る四月一日氷川小学校講堂で開庁式を行った奥多摩町は三ヶ町村を合わせ二千九十二戸、人口一万五千四百六十三名となり、東京都の最西端移父多摩国立公園の雲取山を境に埼玉長野、山梨の三県に接し二百二十六・五平方粁といって東京都一の広い面積をもっている。

三十一年度には目下竣工を急ぎつゝある小河内ダムも完成するほか二ヶ所の都立養鱒場、有名な愛宕山下のキャンプ村など奥多摩の公園が生れ、都民の観光レクリエーション・センターとなる。又産業面では東京の燃料どころといわれるだけに山林約二万町歩からは十八万俵の薪炭と九万石の木材の林産物に観光とで大いに発展が期待されている。

奥多摩町今後の懸案としては西川獅子口、川乗谷、小川谷、日原川及各小河川に淡水魚族の繁殖施設を行って国際的観光河川とする。万世橋、昭和橋の完成、小河内貯水池完成の後は魚族繁殖の施設をする外、貯水池周辺に理想的公園施設をすること等観光の町奥多摩として名実共に兼備した輝かしい希望を持って発足している。

五日市大町

小宮、戸倉、五日市、増戸の四ヶ町村が合併して新町名もなじみ深い五日市町と決定、去る四月一日五日市高校講堂で関係者を招待して盛大な開庁式を挙行した。

新五日市町は西多摩郡の西南部にあり、東は秋多町、西は桧原村北は大久野村、南は南多摩郡川口村の中間に位置して秋川の清流をはさみ秋川丘陵に抱かれ金町河岸段丘の静かな小都市で農林産、酪農特に秋川の流域は秋川丘陵自然公園として指定され家族日帰りハイキング・コースとして最適である。

新町発足と同時に道路改修、橋梁の架替、五日市線の増発、公園施設の完備充実の点に力が注がれ春夏秋冬都人士の誘致と共に発展が期待されている。

なお当日発表された町役場人事は小宮出張所長

戸倉　〃　森下大次郎
増戸　〃　石塚　太助
総務課長代理　片山　毅
産業課長　平野　明治
民生　〃　小川　正信
税務　〃　渡辺　敏治
建設　〃　井上　元市
収入役代理　小鋒源太郎
教育長　田島　元衛

秋多町

秋多町々長戦は

村木堀江前村長の一騎打

秋多町々長戦は頭切出馬を予想されていた中村前西秋留村長は出馬しないことになったので、前多西村長村木光三氏、前東秋留村長堀江氏一氏の一騎打となるもようでそうなった場合結局西秋留が、いづれをつかむかによって勝敗が決るものとみられるに至った。

奥多摩町長戦木村原島の接戦？

奥多摩町長戦は元氷川町長原島謙益氏の出馬の公算が大となったので木村源兵衛氏を擁立せんとする一派と激矣、木村、原島両氏の一騎打は相当激戦を演ずることになるようだ。

西多摩村長戦に井上孝平氏独走？

西多摩村長は並木俊蔵石田作一、井上孝平、新村竹之助氏等が下馬証にのぼり有力視せられていたが村議会が井上孝平氏を次期村長候補として推薦するに及び並木俊蔵石田作一の両氏共に村の円満上から辞退、前回社会党の新村竹之助氏之また辞退し、村議選に出馬する旨を漏している関係で、今のところ対立候補なくこのまゝで進めば井上孝平氏無投票当選の公算が強くなった。

井上孝平氏

井上孝平氏は現西多摩村議会議長温厚篤実併かも実行力ある士で、村議会においても絶対的信望がある。大正八年養豚副業有畜農業に従事、同十年東京市委託種豚場に指定され、昭和十七年西多摩郡畜産組合養豚部長、西多摩郡種牡豚組合長、昭和二十四年には農林省開拓種豚基地農場に指定される等養豚有畜農業の経営には西多摩郡の第一人者である。

昭和二十一年村会議員となり二十七年西多摩村議会議長となり現在に及び五〇才、正に油の乗った公私共に働き盛りというところ。

【写真は井上孝平氏】

合併、面積二三平方㌔七五、人口一万三千六百〇九人、新町の基本としては秋留原の潅漑、農業東京物の増産をはかり観光の面では都立羽村草花丘陵自然公園、都立秋川自然公園西秋留丘陵の二ヶ所の公園施設の充実、一方近く草花丘陵に三六ホールのゴルフ場の設置計画が進捗しつゝあり、また世界無名戦死のため世界平和大観音建立が計画されすでにインドより仏舎利を受領現在安置されている。

秩父多摩国立公園の入口として観光道路の整備し国際的親光の町として発展をはかりつゝある。

さる四月一日開庁式を後日にした秋多町は四日初議会を開き正副議長、常任委員を決定、職員の人事等を発表終ってさゝやかな開庁式をやった。

自由党西郡支部

大会で新役員決定

西多摩郡自由党支部大会は去る四月三日午後一時より福生町テアトル福生に元法務大臣犬養健氏、参議院議員石井桂、衆議院議員福田篤泰氏等出席のもとに開催された先づ氷川町小川丈右衛門の開会の辞に始り次いで副支部長田村利一氏より

さきに執行された衆議院議員選挙の結果に対しわが支部としての反省をした結果、八年間空席だった都議会には今回は是非支部から一名当選させ都議会に送りたい……との支部会員の総意に基き、それには空席である支部長、総務会長の椅子を早急に決定それに伴う支部役員の改選をなし陣容を建直し万全の態勢を整えて地方選挙に望むべきであるとの役員会決定、それには支部大会を開いて同志を糾合して都議戦に勝ちぬくことだ……として支部大会を開いたのだ……と経過報告あり、次いで役員の改選に入り推衡委員によって支部長に田村幾太郎氏、副支部長

以下支部役員が別項の如く発表され満場異議なく承認した。次に新支部長田村幾太郎氏より簡単な支部長就任挨拶あり、次いで宣言文の朗読の後、本大会において都知事の選挙には

安井誠一郎氏

都議会議員の選挙に際しては

田村幾太郎氏

を推薦しそれぞれ必勝を期して戦うことを決議し

次で田村幾太郎氏の選挙事務長加藤市蔵氏、田村幾太郎氏後援会長森田幸造氏の挨拶あり、終って元法務大臣犬養健氏、参議院議員石井桂氏等の来賓挨拶終って、自由党西多摩支部並に田村幾多郎氏の万歳を三唱し映画の観賞をして散会した。

秋川渓谷
多摩の
石舟閣
電五ヶ市一二八

新緑の秋川へ

次の間付お座敷

自由党
西多摩支部役員
支部長　田村幾太郎
副支部長　小峯　忠義
〃　池田　孝三
〃　市倉　林三
幹事長　大野惣太郎
副幹事長　坂本　利一
〃　杉田　勝美
〃　神田　憲七
総務会長　広瀬　貞三
副総務会長　森田　誠重
〃　山田　文治
〃　榎本　鶴蔵
政調会長　中村　啓蔵
副政調会長　荒木伝十郎
〃　松沢　寿雄
〃　関田　繁一
庶務会計　高橋　三郎
〃　吉岡　敬治
文化部長　田村　福一
組織部長　佐藤　又吉
青年部長　浦野　克義
婦人部長　栃元　ヨネ
宣伝部長　石川　保
相談役
長塚喜作、戸塚重夫、荒井一作、小峯謙治、横田照耕、平井初五郎、橋本茂十郎、志茂忠雄、酒井長吉、森田文吾、近藤秀雄、谷合昇、福島定彦、大沢尚、清水長次郎、
顧問　津雲国利、福田篤泰、岩浪光二郎、宇津木啓太郎、石川虎一郎、
常任相談役
石塚幸衛門、石塚喜治、小川丈右衛門、田村利一、
代表幹事
福生　高橋角蔵、西多摩　島田泰一、瑞穂　根岸源兵衛、秋多町多西、金子藤三郎、東秋留　山本喜代作、西秋留　橋本万吉、五日市町、増戸　坂本勇太郎、戸倉　小峯正保、小宮　栗原昇作、五日市町　高岡傑夫、大久野　宮田栄太郎、平井　森田清、桧原　清水保蔵、青梅市　小曽木　万田松五郎、成木　高山啓次、吉郎　須崎喜一郎、三田　石川佐一、奥多摩町古里　原島鉱、氷川　栃元勇、小河内　古谷忠良。

多摩高校

福生分校開校

東京都立多摩高校福生分校開校式は四月十五日午後二時より福生中学校に並木代議士、並木都教育委員、都下高校長、中学校長、森田町長、福生町会議員等多数参列のもとに盛大に挙行された。

同校は前木崎都会議員の奔走で予算化されたもので独立高校を目ざし、とりあえず定時制として発足したもので生徒は男子三三名、女子三三名計五名一学級。生徒出身学校別をみると……福生中二〇名西秋留中六、多西中四、青梅一中四、東秋留三、拜島三、西多摩二砂川二、増戸一、昭和一、大久野一、加住一、五日市一、氷川、他府県五名の割合になっている。

福生分校主任　田島　碩巌
事務長　堀内三三夫

川崎遊園地落成

基地周辺の児童を護る意味で西多摩村では二九年度に川崎宗禅寺境内約三〇〇坪に児童遊園地を建設中であったがこの程落成したので去る四月八日釈尊降誕祭をトし開園式を挙行した。

なおこの遊園地は諸庫及都費、村費によるもので約三〇万円を支出されて出来たもの、なお村当局では今後各部落毎にこの種遊園地設置を計画している。

多西の松楓園

老人ホーム開園

社会福祉法人松楓園が多西の管生部落地内裏に山を控え日当り良い場所に出来た老人ホームの開園式が去る三月三十日午後二時から開かれた。

小作駅周辺

簡易水道落成

西多摩村でかねてより工事費二〇〇万円を以て青梅市斉藤ポンプ店請負のもとに工事中であった小作駅周辺の簡易水道工事は漸く完成三月三十一日完成引渡しされたので、さる四月九日全部落を挙げて通水祝賀式が催された。

同簡易水道は貯水池一ヵ所で給水世帯六五戸である。

宝塚好み
アポロオペラ
ブラウス
タケシマヤ
TEL 259

株式・公社債
投資信託売買
多摩証券
ニュー福生前
電四二二・五七四

大青梅市、五日市町
奥摩多町、秋多町
祝町村合併
福生町長　森田幸造
福生町議会議長　森田誠重
瑞穂町長　原島治平
瑞穂町議会議長　吉岡敬治
西多摩村長　下田伊右衛門
西多摩村議会議長　井上孝平

瑞穂町農業協同組合

政府指定預託店
東京都公金取扱店
武陽信用金庫

いつも親切
埼玉銀行
青梅支店　東青梅支店　氷川支店　福生支店　五日市支店　瑞穂支店　村山支店　立川支店　八王子支店

福生町々議戦下馬評
立候補予想者卅五、六名

来る二十日から展開される福生町議戦に候補者予想されるのは、今のところ現職十七名位、未だハッキリしていないので、三名はあるという。卅五、六名出馬の予想である。尚開票は同日開票される。

武蔵野部落　町議会の紅一点、新人が出馬するかどうか注目は中村高一氏の後援を得て戦う……といえばやっぱり中村氏は問題会長だった顔を利かせて殺戦を演ずるもののようだ。部落有権者数一八〇。

原ケ谷戸　この部落の推薦をうけて山下交通の山下忠二氏が出馬する。山下氏は東京経済大学出身二十五才。おとなく今次町議戦の最年少者である。年恢若いがなかなかしっかりした態度を持っており、古さを脱ぐ新ぶりを示っている点微妙あるのといえよう。その思惑は中南をとっている点微妙あるのといえよう。部落有権者数三二五。

志茂二　この部落は多二新々で、町内有力助分かんが推しする現福生町商連合会の副会長、菅谷一郎をやっぱり川町議一期、市議一期をやった経験を生かし熱心に推し選挙に打出氏も選挙に参加せんとの意向である。部落有権者数三三。

南部落　現議員の石川武義氏は引退、出馬を予想されていた町内会長の天野由三郎を断念、石川栄太郎氏を推薦して明を挙げた同部落は一致して石川氏を一本で推し選挙に出発、やっと御懸命をあげたこい。

武蔵野部落　町議会の紅一点、新人が出馬するかどうか注目は中村高一氏の後援を得て戦う……といえばやっぱり中村氏は問題会長だった顔を利かせて殺戦を演ずるもののようだ。部落有権者数一八〇。

原ケ谷戸　この部落の推薦をうけて山下交通の山下忠二氏が出馬する。山下氏は東京経済大学出身二十五才。おとなく今次町議戦の最年少者である。年恢若いがなかなかしっかりした態度を持っており、古さを脱ぐ新ぶりを示っている点微妙あるのといえよう。その思惑は中南をとっている点微妙あるのといえよう。部落有権者数三二五。

志茂二　この部落は多二新々で、町内有力助分かんが推しする現福生町商連合会の副会長、菅谷一郎をやっぱり川町議一期、市議一期をやった経験を生かし熱心に推し選挙に打出氏も選挙に参加せんとの意向である。部落有権者数三三。

南部落　現議員の石川武義氏は引退、出馬を予想されていた町内会長の天野由三郎を断念、石川栄太郎氏を推薦して明を挙げた同部落は一致して石川氏を一本で推し選挙に出発、やっと御懸命をあげたこい。

内出部落　現議員野島徳氏は部落で推薦されたが、再三その出馬辞退を退引引き守ることになった。

鍋二部落　この部落は現議長の島田敏重氏、現議員前制議長渡辺厚部長氏の森田政蔵氏等の争奪戦が新たに昭和推薦機労組織委員長の大久保一郎氏が出馬するので相当激戦が予想されるので前記二名の現職も相当苦戦、同部落の有権者数六六二。

熊川牛浜　同部落では現議員斎藤喜一氏の再出馬を促していたが、喜一氏出馬を辞退、部落有権者数四二。

牛浜第一　現議員貫井徳作氏引退、新らしく部落有志から町内会長の石川信義氏が推薦されているが石川氏すっかり腐ってはいたらなえ二の足を踏みこんな状態では馬しなくない……と言い出しての部落でも困っているようだ。有権者数三二四。

牛浜第二　駐留組横田支部長行員員で前町内会長の西田治氏と

福生駅前中央商栄会さくら祭り
人気をさらう四十七士仮装行列

福生駅前中央商栄会では去る四月十日さくら祭り大売出しの時のもの、行列を行ない福生町ならびに隣接町村の四十七士に仮装、なおこの四十七士はどこの店あるのは店員であるがみな部落の者ものに賞品を贈った。仮装者数教

のため正解者を抽選によって表彰そうつけ抽選の結果次選者左の通り

（写真は店主が装した四十七士の勢揃い）

一等　西多摩村　横原　マサ
二等　福生町　古畑　弟子
三等　〃　田村　喜子
四等　秋多町　原木マス子
五等　十名
福生　工藤ヒロ江、福生　金子
佐々木　福生　山田弘美、福生
竹三、福生　山田弘美、福生
佐々木栄子、豊島区　安藤貴
福生　私市勝次、福生　清水喜
一、福生　川上惠代、
福生　私市勝次、福生　清水喜
一、福生　川上惠代、
福生　私市勝次、福生　清水喜
一、福生　川上惠代、

昭和三十年福生町新予算

五二、七六〇、七五〇円

昭和三十年度福生町予算案はそれぞれ常任委員会に付託され審議中であったが委員会の審議も完了したので去る三月二十四日継続町議会を開き一般会計について総務委員長田村利一氏、国民健康保険費公益質屋費を厚生委員長森田幸蔵氏、上水道費を水道委員長村尾種吉氏、一般会計費中の警察、消防関係を治安委員長高橋三郎氏、学校教育関係を文教委員長貫井伊作氏、土木建設関係を建設委員長野島毎氏よりそれぞれ委員会審議内容について報告あり、議会は各委員長報告通り可決確定された。

可決された三〇年度予算額は

一般会計五二、七六〇、七五〇円

国民健康保険費

一〇、七二五、四〇〇円

上水道費一九、〇〇〇、〇〇〇円

公益質屋費八、六五九、三〇〇円

合　計　九一、一四五、四五〇円

となり、二九年度当初予算七六、三六〇、八一〇円に比較し一四、七八四、六四〇円の増となっている。

一般会計

三〇年度の予算編成の重点は中学校々舎の増築と第一小学校分校の敷地買収費等に中心が置かれている。

中学校の生徒数において二九年度は九三〇名であったものが、三〇年度は一〇二〇名となり九〇名の増加となった。

中学校は小学校と違い二部教授は出来ず、生徒数が千名以上になると音楽とか理科、家庭科等の特別室は一教室宛だけでは足らなくなり各二教室を必要となるのと、更に三一年度以降の生徒数は毎年百名以上は増加するとの見通しから本年度において七〇〇万円を計上して二八〇坪、一〇教室を増築することにしたものである。

次に第一小学校も児童数一、〇三名となり五〇名増となり、一部老朽校舎でもあるので本年度は分校敷番を物色してそれが買収に着手したいので、用地買収費として百万円が計上されている。

本年度には予算化されていないが第三小学校も番域的に児童数が増加しつつあり、昨年は五八〇名であったものが本年は六三〇名となり五〇名の増となっているので、やがては増築を必要となる。

従来継続事業としてやってきた都市街路の新設に二百万円、福生公園の設置費として百万円、汚物処理場の施設費二百万円等の継続事業費の外には特別の新規事業は考えられなかった。

次に京ヶ谷戸に私立の保育園東福保育園が出来たので児童委託費七〇万円（内一割七万円が町費負担）が計上された。なお今秋十一月三日は福生町町制施行十五周年に相当するので町制施行十五周年記念事業費として僅かながら十万円が計上されている。

特別会計

国民健康保険―従来実施していなかった歯科補綴（入歯）を本年度から実施される。

水道事業―簡易水道として発足した水道が昨年の秋十一月上水道として認可を得たので更に拡張工事を行うため工事費千五百二十万円が計上され起債を待って水道の拡張がされる。

公益質屋―一世帯当りの貸付限度八千円を一万円に引上げられたので庶民金融の利用度が高められた……といえよう。

臨時町議会

議員定数減らす

福生町臨時町議はさる五日開かれ第二七号議案　町立中学校舎増築の件

第二八号議案　第三小学校PTAより銅張ストーブ一五、煙突、ストーブ台、石炭バケツ、十能等。また第一小学校PTAより図書棚金銀にして三〇万円をそれぞれ寄付願いが出ているので受領の件

第二九号議案　道路運送車両法施行規則の一部を改正する省令に伴ない原動機付自転車の範囲および種別が改められたので徴税条例の一部を改正する件

第三十一号議案　議員定数条例を改正する議案提案が田村利一、高橋三郎議員の賛成を得て森田幸蔵議員より提出された。

この件については慎重協議の必要ありとし議会を協議会に移し各議員の自由討議に諮った結果議員の定数を減らすことについては大多数の議員は賛成であるが、しからば何名を減すか……という減数について論議され投票の結果

二名減の二十四名案　十四票

四名減の二十二名案　七票

六名減の二十名案　二票

で二名減で議員定数現行二六名を二十四名とする案が多数となり定員は二十四名と決定した。

福生町の人口は現在一万八千名であり毎月百名以上の増加率をしめしているので来年度中には二万名になる公算が大きい……というので人口比率からして二十四名が妥当だ……という見解らしい。

瑞穂町新予算

二一、九四二、九七九円

昭和三十年度瑞穂町予算案はさる三月十二日公民館で町議会を開き提案され、それぞれ各常任委員会に付託、各委員会において審議中であったが審議完了したのでさる三月三十一日継続町議会を開き、委員長報告通り可決決定した。

なお当日議会では議員定数二十二名を六名減員して十六名とする条例を理事者提案として、提出賛否を起立によって採決の結果減員を賛成とする者十五名、否とするもの三名、減員賛成多数であったので現行議員定数二十二名を十六名とすることに決定した。

新予算内訳

瑞穂町三十年度の当初予算二、一九四二、九七九円は二十九年度当初予算額二、〇〇七四、三六三円より一二三八、六一六円の増となっている。

議会費	七四九、〇〇〇円
役場費	七四六〇、一八一円
消防費	一一九七、四二〇円
土木費	一一七三、〇〇〇円
教育費	六五九、八二〇円
社会労働施設費	二四九、五〇〇円
保健衛生費	五六一、〇〇〇円
産業経済費	一四六、五九〇円
統計費	八一、〇五〇円
選挙費	二三六、九〇〇円
交際費	九二五、〇〇〇円
諸支出金	一三三、五一八円
予備費	一〇、〇〇〇円
合計	二、一九四二、九七九円

原島町長談

今年度当初予算では緊縮健全予算のたてまえで、町民の負担になる増税は絶対にさけて編成されている。従って諸懸案の国保の財源、教育の面では義務教育の充実と環境の改善……という立場は勿論社会教育の面においては益々公民館活動の活発化を図り町民の教養、文化の向上により幾分でも住民諸君の福祉の増進に寄与する……という観点から社会教育費において昨年度より二〇万円を増額して八五万八千五百円とした。

次に中学校の移転に伴う校地の買収並に新築、道路の新設補習橋梁の架橋、産業の面において振興費等を増額して増産面に意を注ぎたいが、いずれも新議会の協賛を得実施したい。

次に本町として特筆大書すべきことは議員の定数現行二二名を六名減じ十六名に減員したことであろう。

議員を六名減らしたということが直ちに莫大の町費が節約された……ということにはならないが町政の運営の面に及ぼす心理的影響並にこれが郡下の各町村は勿論のこと自治庁、都庁側に及ぼす精神面の効果は蓋し莫大なものがあると思われる。

かねて瑞穂、福生、西多摩三ヵ町村で強力に申請中であった瑞穂バスの運行は近く立川バス会社によって実現する運びとなった更に将来の交通政策として瑞穂町は、大和、村山、青梅市と共同で西武電車瑞穂町乗入り誘致の運動を展開している。

村山貯水池を中心とする狭山自然公園の充実による都人士のハイカー誘致に必要な施設の充実については、瑞穂町としては単独で目下計画立案を進めている。

かねて二九年度追加予算六〇万円をもって町内戦没将士一九〇柱の英霊を招魂する忠霊塔を建設することになり、目下御伊勢山地内共有地一〇〇坪を敷地として目下建設中であるので、これが完成の暁には戦没将士の遺家族を招き盛大な招魂式を挙行する手筈になっている。

なお住宅問題解決の一助として昨年度は町営住宅一〇戸を建設したが、今年度は更に三〇戸建設を予定し住宅困窮者の利便を図りたいと思っている。

西多摩村予算

二二、五七九、三六八円

西多摩村三〇年度村議会は去る三月十二日召集され左の通り議決された。

議会費	五二四、三〇〇円
役場費	六、三〇六、一一二円
消防費	八五三、一〇〇円
土木費	二、九一九、〇〇〇円
教育費	四、九二一、六二四円
社会及労働施設費	
保健衛生費	四五二、一〇〇円
産業経済費	七五一、二九四円
財産費	一、四四三、三六〇円
統計調査費	二六三、〇〇〇円
選挙費	一八〇、八〇〇円
公債費	二一五、〇〇〇円
諸支出金	一、二四三、一二〇円
予備費	三五二、七〇〇円
合計	二、三五七九、三六八円

二十九年度当初予算一九、五三三、六一〇円に比較して二、〇四五、七五八円の増となる。財源の重点的配合による経費効率の上昇を図るやう努力が払われており、特に議会費については議員の定数減少により消防委員一〇名を五名にし国保運営委員十二名を八名に、診療所運営委員を全廃する等経費の面においても精神面においても定数減少による効果は蓋し大なるものがあろう。

西多摩村は合併気構えであったために都市計画の指定を受けて羽村駅周辺の都市計画事業案が中止の形となっていたものを今回とりあげ緊急に実施の運びとする。

教育面では川崎の分校を更に十二教室を増築し独立校とする。

村道の実態調査をして町交付税その他地方交付税の適正配分を実施したい。

この秋には人口一万人になる見透しがあるので、町制施行の準備をする等幾多懸案は孰れ新議会の協賛を得て漸次実施する予定のようだ。

村山町婦人会役員改選

村山町婦人会は去る三月六日午後一時より役場において定期総会を開き三十年度の予算決定改正新年度役員を左の通り決定した。

顧問　藤野　ヒサ
会長　豊泉　敏子
副会長　石井トヨ子　榎本よし子
渡辺　好江
会計　大久保愛子　森谷　ツネ
書記　江郷　はな
小室　藤野　逸子
監査　のぶ　福島　滋子
清水　助門　水越　のぶ
柚原　はな
支部長　鍛治ヶ谷戸高橋マチ、中村榎本さの、谷ッ初谷キン、馬場小口八重子、神明藤野せい、横田大田操、原山内野カフ、峰比留間トシ、原山（一）渡辺シズ江、後ヶ谷戸、金井喜久江、萩の尾波多野若代、宿加園ちか、赤堀比留間かね、殘堀福島ハナ、岸小峰ヤス。

3.000円で御手許へ……
蛇の目ミシン
月賦販売
福生駅前　福生代理店　電話441
代表　橋詰勝至　自宅370

新刊書籍雑誌
田村書房
福生駅前通り
電話　二三九

御用は　えのき
金融　田村質店

ヨコハマタイヤ
ブリヂストンタイヤ
グットイヤタイヤ
再製・修理・販売・
氏井タイヤ商会
福生町加美

中華御料理
御座敷は
御会談に……
千登世
福生町役場前
電話五三一番

よいお茶・よい海苔
新藤園
福生駅前　電333

土木建築及附帯設備設計施工
建築申請★監理及代願
大野建設株式会社
電話福生四七七番

健康保険歯科医
木村歯科医院
福生町銀座通り　電話五六六

株式会社
竹中建設工業所
社長　竹中実恵
本社　東京都昭島市田中町五九〇
（青梅線昭和前駅前）
電話（昭和）一一七番

祝町村合併
大青梅市
大五日市町
奥多摩町
秋多町

福生交通株式会社
福交
福生タクシー
電話福生521番

水稲・陸稲に
放射能作物生育促進済
ラダン
特約店　瀬沼商店
福生町電話四一・四五五番

祝町村合併
大青梅市
大五日市町
奥多摩町
秋多町

あなたも・わたしも
貯金は農協へ
福生町農業協同組合
電話福生40・150・419番

シンシン
優良麦押麦
西多摩農協
電話・羽村24~25番